第十七講・ことば

◆慣用句（かんようく）

二つ以上の語が結びついて、全体である特別の意味を表すことばを慣用句といいます。

例（れい）　油を売る……むだ話などをして、仕事をなまける。

へそを曲げる……きげんを悪くする。

さじを投げる……見こみがないとあきらめる。

水に流す……それまでのもめごとなどを、なかったことにする。

慣用句には、体の一部分を表すことばを使ったものがたくさんあります。

例

耳
- 耳がいたい……欠点などを言われて、聞くのがつらい。
- 耳をかたむける……熱心に聞く。
- 耳にはさむ……ぐうぜんに、ちらっと聞く。

手
- 手があく……仕事の区切りがついて、ひまになる。
- 手がかかる……世話がやける。
- 手を切る……関係をなくする。

顔
- 顔から火が出る……とてもはずかしくて、顔が赤くなる。
- 顔にどろをぬる……めいよをきずつけて、はじをかかせる。
- 大きな顔をする……いばったり、えらそうにしたりする。

目
- 目にあまる……あまりにひどくて、だまって見ていられない。
- 目をかける……特にかわいがってめんどうをみる。
- 目がきく……ものごとを見きわめる力がある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の――線部のことばはどんな意味で使われていますか。あとから選(えら)び、記号で答えなさい。

(1) テストで満点(まんてん)を取ったことを鼻にかける。［　］

(2) 宿題の算数の問題に手をやく。［　］

(3) 都合が悪いことを聞かれて、お茶をにごす。［　］

(4) これまでのことを反省(はんせい)して、えりを正す。［　］

(5) 予想外のできごとが起きて、あわを食う。［　］

ア　うまくいかないで苦労(くろう)する。
イ　その場をうまくごまかす。
ウ　気持ちを引きしめる。
エ　びっくりして、あわてる。
オ　じまんする。

2 次の□に体の一部分を表す漢字一字を書き入れ、慣用句を使った文を完成させなさい。

(1) 兄は［　］に衣(きぬ)を着せずに、ものを言う。

(2) かりていたお金を［　］をそろえて返す。

(3) のどから［　］が出るほどほしい本がある。

(4) ［　］が広い父は、毎年、年賀状(ねんがじょう)がたくさんとどく。

(5) あの人は［　］がかたいので、みんなに信らいされている。

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　□には、「手」または「足」が入ります。それぞれグループに分けましょう。

ア　□をぬく…仕事などをいいかげんにやる。

イ　□が出る…用意していたお金では足りなくなる。

ウ　□があく…仕事がすんでひまになる。

エ　□をあらう…悪い仕事や行いをやめてまじめになる。

オ　□を打つ…手段（しゅだん）や方法を考え、前もって用意する。

カ　□を引っぱる…ひとの行動のじゃまをする。

キ　□をぼうにする…歩きまわってひどくつかれる。

ク　□につかない…ほかに気になることがあって集中できない。

ケ　□に入れる…自分のものにする。

コ　□を運ぶ…わざわざ出かけて行く。

サ　□にあまる…自分の力ではどうすることもできない。

「手」が入るもの

「足」が入るもの

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

◆ことばの意味

文章を読んでいて、むずかしいことばが出てきた場合、文や前後の文章の意味を考えると、そのことばの意味がわかることがあります。漢字が使われている場合は、漢字の意味を手がかりにして考えます。考えても意味がわからないことばは、国語辞典（じてん）を引いて調べ、二つ以上の意味のある場合は、使われている文に合った意味を選びましょう。

例・長年の念願（ねんがん）がかなってうれしい。

「念」は「考え・心」という意味で、「願」は「願（ねが）い」という意味であることから、「念願」とは「いつも心にかけて願っていること」という意味であると考えられます。

・ぼくたちは、森の中にかっこうのかくれ家（が）を見つけた。

「かっこう」には①「すがた・形」という意味と、②「ちょうどよいぐあい・ふさわしい」という意味があります。――線部の前後のことば〝森の中〟〝かくれ家〟に注目して、どちらの意味で使われているのかを考えます。この場合は②の意味です。

◆ことばの使い方

一語でいくつかの意味をもつことばがあります。文中での使い方を考え、どんな意味で使われているのかを正しくとらえましょう。

例　かよう

- 学校にかよう道……いつも行き来する。
- 心がかよう……つうじる。
- 全身に血がかよう……とどまらずに流れる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1 次の――線部のことばに合う意味を選び、記号で答えなさい。

(1) からだに変調（へんちょう）をきたした。
ア 音楽の調子が変わること
イ ぐあいがいつもとちがうこと
□

(2) 先祖伝来（せんぞでんらい）の土地を守る。
ア 古くから受けつがれてきたこと
イ 外国から伝わってくること
□

(3) 話をさえぎる。
ア じゃまをする。
イ 間をへだてる。
□

(4) 寒さをしのぐ。
ア ほかよりすぐれている。
イ がまんして、切りぬける。
□

2 次の――線部のことばの意味をア～ウから選び、記号で答えなさい。

(1)
① 旅に出る。
② 校庭に出る。
③ 月が出る。
ア 内から外へ行く。
イ 出発する。
ウ あらわれる。
① □　② □　③ □

(2)
① ぼうしをとる。
② 受話器（じゅわき）をとる。
③ 宿をとる。
ア 予約（よやく）する。
イ ぬぐ。
ウ 手に持つ。
① □　② □　③ □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3 次の――線のことばの意味としてもっともよいものをあとから選び、記号で答えなさい。

(1) かいらん板をとなりの家に回す。

(2) ひもの上でこまを回す。

ア　くるくる回転させる。

イ　順番（じゅんばん）に送る。

(1) □　(2) □

(3) つくえの角にひじをぶつけた。

(4) 君のことばには角があるね。

(5) 次の角を左折（させつ）してください。

ア　おだやかでないこと

イ　とがった部分

ウ　曲がり目

(3) □　(4) □　(5) □

---

(6) ぼくたちのしょうらいは明るい。

(7) 父は、町の歴史（れきし）に明るい。

(8) 妹は明るいせいかくだ。

(9) この部屋はまどが大きくて明るい。

ア　光が十分にある

イ　ほがらかである

ウ　期待が持てる

エ　よく知っている

(6) □　(7) □　(8) □　(9) □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　次の(1)〜(5)の［　］にあてはまることばとしてよいものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1)　両チームが［　］をけずって戦った。

(2)　事の成り行きを［　］をのんで見守った。

(3)　やっとのことで仕事の［　］がついた。

(4)　ぶあいそうな返事で、取りつく［　］もない。

(5)　交通事故（じこ）を［　］のあたりに見て青ざめた。

ア　かたず　**イ**　めど　**ウ**　目（ま）

エ　しのぎ　**オ**　島

(1)［　］　(2)［　］　(3)［　］

(4)［　］　(5)［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十七講　ことば

【慣用句】

1
(1) オ
(2) ア
(3) イ
(4) ウ
(5) エ

2
(1) 歯
(2) 耳
(3) 手
(4) 顔
(5) 口

3
〈手〉ア・ウ・オ・ク・ケ・サ
〈足〉イ・エ・カ・キ・コ
（それぞれ順不同）

【ことばの意味と使い方】

1
(1) イ
(2) ア
(3) ア
(4) イ

2
(1) ① イ　② ア　③ ウ
(2) ① イ　② ウ　③ ア

3
(1) イ
(2) ア
(3) イ

4
(1) エ
(2) ア
(3) イ
(4) オ
(5) ウ

(4) ア
(5) ウ
(6) ウ
(7) エ
(8) イ
(9) ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。